



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

「フォア・アザーズ」の精神 教頭 坪内俊己

中庭の石碑「For Others」の金色の文字を一段と目映く感じる季節となった。本校「創立百年」によれば、第七代校長栗川久雄先生は、「フォア・アザーズ」のほかに、ダズ・エトワズ（なにかあるもの）の存在を強調され、伝統継承の上に立つた校風の樹立を説かれた。そして鶴丸生のあるべき道として、「粘り強く根気よく」「気品があり節度のある言動を」「強い体を鍛え上げよ」のほかに出水兵児修養掟にうたがっている「かいがいしく、たのもしく」を付け加えられた。また、「フォア・アザーズ」の究極は「成人するにつれて人間として当然もつようにならなければならぬに暖かい思いやりと情緒から、ひとりだに滲み出てくるものが本物である」と訓話されたのは、今から四十年前のことである。現高田校長もこの高邁な精神を実現するため、かねてから人間としての力量を蓄える心掛けと、自分の生活や行動に自分の力で自らを律する「自律」の精神を備えることが必要だと述べておられる。

さて、三月は一年間の大きな節目の月。「己むべからざるに於いて己むる者は、己まざる所なし」と孟子の言葉にある。誰しも一生のうち何度かは正念場を迎える。そこで踏ん張れるか、挫折するか。もちろん踏ん張って、ひと山を乗り越えれば大きく展望が開け、さらに人間の器をひとまわり大きくできる。一年間を振り返り、今一度自己の足跡を見つめ直し、新たな意志を重ねながら前進したい。「For Others」の精神のもとに。

ひたすらに 人の世のため活きなんと 思う命に 光あるかな (中村天風)

4月の行事予定

4月	
1 (土)	
2 (日)	
3 月	
4 火	
5 水	
6 木	新任式・前期始業式 復習考査(2・3年)
7 金	入学式
8 (土)	
9 (日)	
10 月	対面式、1年オリエンテーション(15~7限 新入生テスト、復習考査(2・3年) 体育・保健委員会合同会(昼食時)
11 火	耳鼻科検診(1年) 13:30~14:30 1年オリエンテーション(2) 学校安全の日
12 水	健康診断(3年) 13:30~ 1年オリエンテーション(3)
13 木	1年オリエンテーション(4) 健康診断(1年) 13:30~
14 金	健康診断(2年) 13:30~ 部活動紹介(7限目) 中掃除
15 (土)	スタディサポート(1年)
16 (日)	
17 月	胸部検診 13:30~15:30(1年・職員)
18 火	心電図13:30~ 1年・職員(35以上)
19 水	創立記念日 尿検査1次 合同LHR(甲鶴丸,7限目)
20 木	尿検査1次
21 金	甲南鶴丸 スポーツ交歓会
22 (土)	
23 (日)	
24 月	学年朝会 生徒会立会演説会 生徒総会(7限カット)
25 火	
26 水	身体測定 3年(1, 2限) 1年(3, 4限) 2年(5, 6限)
27 木	スポーツテスト2年(午後)
28 金	スポーツテスト1年(午後)
29 (土)	みどりの日
30 (日)	

校内弁論大会

平成十八年度の校内弁論大会は二月十五日に本校体育館にて開催された。各学級毎に代表を一名ずつ選出し、学年毎に一次審査を行い、三名ずつ計六名を選出して本大会を行った。本大会出場者と演題は以下の通りである。

- 一R フランソワ マリアンヌ 「溶けあう世界」
- 一五R 平野真太郎 「幸せのカタチ」
- 一八R 藤田 達也 「自分」
- 二二R 新田 香 「上昇」
- 二八R 鶴丸 美樹 「泣くこと」
- 二九R 東穂 静 「幸せの種」

最優秀賞には新田香さん、優秀賞には鶴丸美樹さんと平野真太郎君が選ばれた。新田さんは、ブームや流行の背後にある他人との同調を求め、心理の存在を指摘し、そのような心理を克服することで真の自分を確立することの大切さを主張した。鶴丸さんはひたすら涙を流すことで、孤独や不安を克服できると、その真の効用を論じた。平野君は、他人に幸せを与え、自分が最も美しい幸せの形であると幸福論を展開した。



いづれも、極めてレベルの高い弁論で、会場全体が引き締まった雰囲気に入っていた。生徒全員が熱心に聴き入っていた。

第五十七回生旅立つ卒業式

かえらざる鶴丸生としての三年。学業に部活動に専らたるときを重ね、友情を育み、人間性を磨き、鶴丸百十一年の歴史と伝統に新たなページを刻んできた五十七回生が、三月一日に卒業式を迎えた。卒業生入場、国歌斉唱、卒業証書授与、校長式辞、県教育委員会告示(教育委員長職務代理者 吉井和子先生、PTA会長祝辞 幾野秀一会長、送辞(瀬戸山 潤君、答辞(立元洋平君)、「仰げば尊し」・校歌斉唱、保護者代表挨拶(小城琢朗 三学年委員長、記念品贈呈(島津登志子 三学年母親代表)まで、鶴丸高校が異次元の世界に感じられるかのように時が流れ、前に進むためには懐かしい愛しい人々に別れを告げなければならぬという思いを踏みしめるように、惜別の拍手に送られて卒業生が退場していった。



はばたく五十七回生の前途に幸あれ！

保護者による学校評価の結果について

昨年度の学校評議員会の提言を受け、学校運営や教育活動について、その成果・問題点を明らかにし、更に保護者のニーズを把握することにより、よりよい教育活動の展開を図ることを目的とし、また同時に学校に対する保護者の関心や理解を深めたい。保護者による学校評価の結果は、アンケートの結果を踏まえ、各課・各学年活動がどのように指導の改善工夫を図りたい。具体的な集計結果はPTA総会の中で発表いたします。

評価を実施した。アンケートの結果の概略は次のとおりである。

2: やや当てはまる、という肯定的な評価は、ほとんどの項目において80%以上の高い割合を占めており、最も高かったのは、「文化祭・体育祭等、諸行事に生徒が積極的に関わっている」という項目で96%であった。また、逆に最も低かったのは、「それぞれの能力に依りて成績を伸ばす適切な学習指導がなされている」という項目で、74%であった。分野別にみると、(1)「教育目標」では、校訓の実践及び本年度の努力目標は、保護者の方々によく理解され本校の教育目標として日々の実践が評価されていると思われる。(2)「進路指導」では、どの項目も「1と2」の肯定的な評価が、84%と88%という高い結果を得ているが、「大学や学部に関する情報や受験に関する最新の情報の提供、また就職などに結びつく文理科の資料を求めると結びつきがあり、保護者への情報の内容を検討する必要がある。(3)「学習指導」では、アンケートの結果によると、「鶴丸は勉強する所である」ということは生徒に浸透しているが、「個々の能力に応じて成績を伸ばす適切な学習指導」や「部活動と学習の両立」ということに関しては、まだ不十分な点があるようだ。保護者の意見・要望の中に、部活動と学習の両立の困難さや宿題の量の問題などの指摘があり、教科・学年で検討すべきものがいくつもあった。(4)「生徒指導・その他」では、「For Others」の精神が生徒の行動に大きく影響している」という項目は、「1と2」の肯定的な評価が78%と低い結果であった。また、保護者の意見・要望の中にも、「服装」の乱れや規則の見直し等の多くの意見をいただいている。